

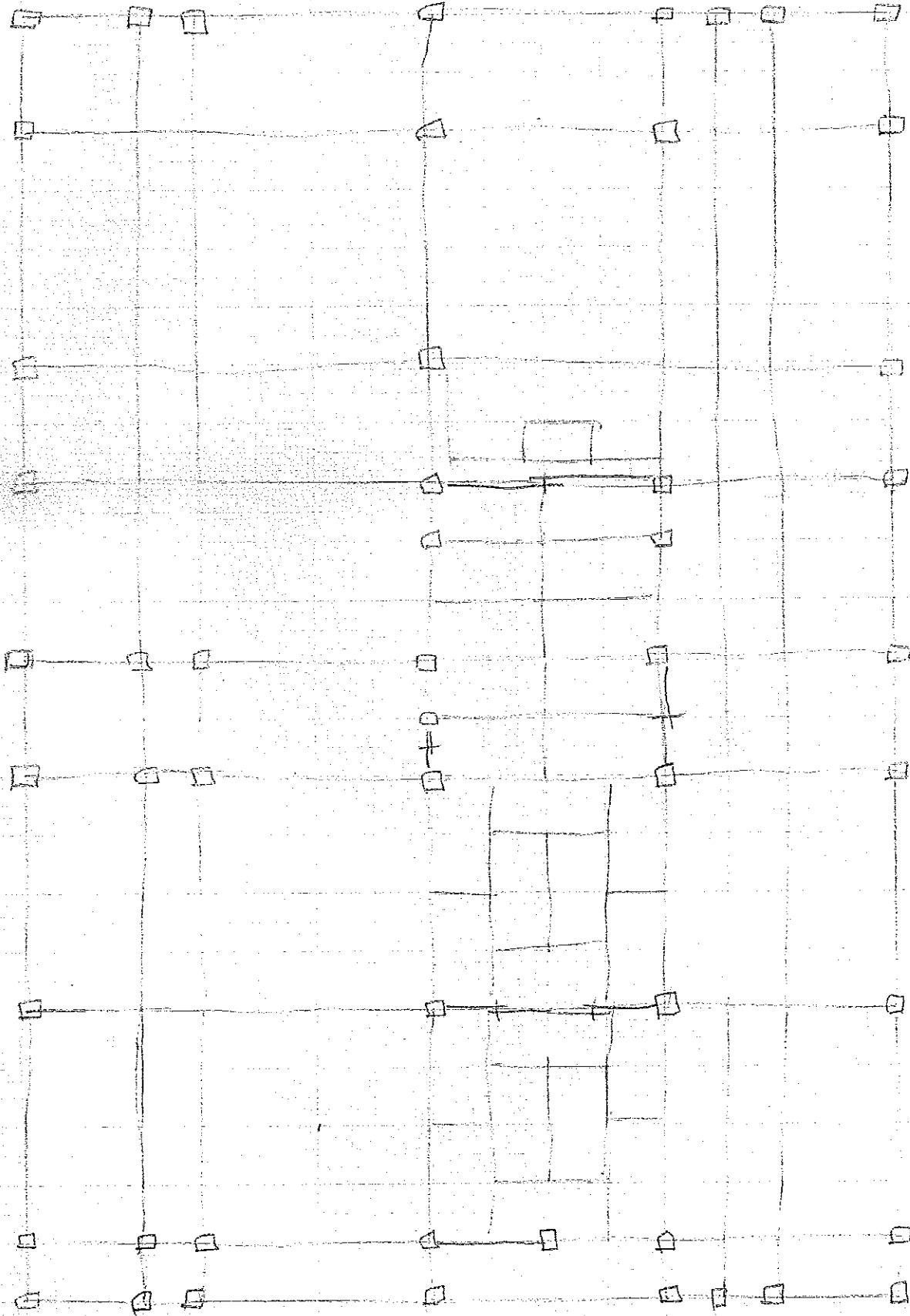
高村也

高村也

導入セミナー レポート

10月10日

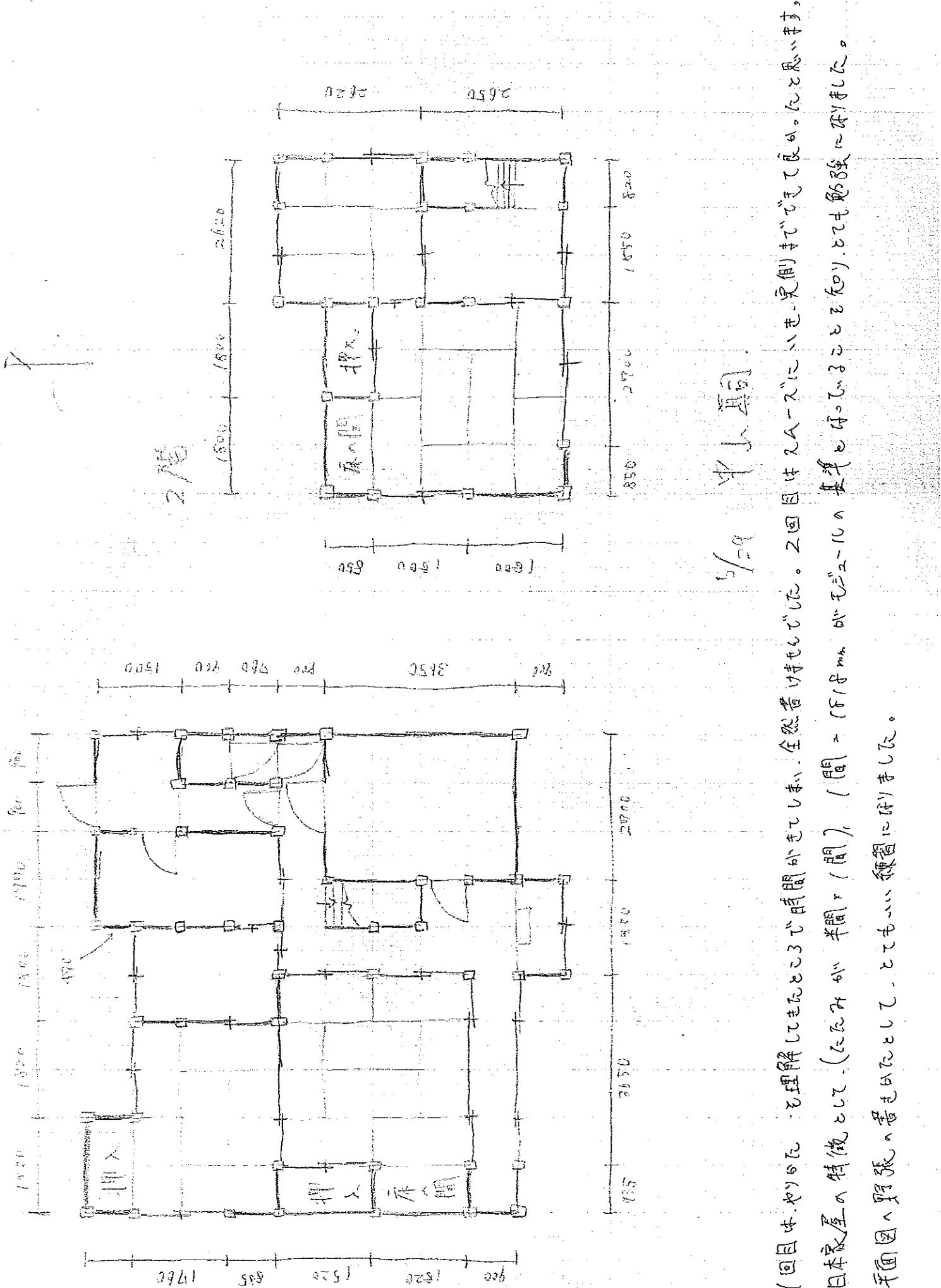
中山真司



56

56

56



(回目中、やうに) と理解しても可とこ了じ時間かせしま。全然置けせず。2回目は丸太スズにハサキ-定側までで走て良か。これと思ふ事。
日本家屋の特徴として。(柱及び半間)、(間) = 1818mm のモダニズムの普及を知り、これを勉強心がけました。
平面図へ写真の書き出たとして、これもいい練習になりました。

建築学科 高村教授

10N1095 長友 敦子

高村教授導入ゼミについて

高村教授の導入ゼミナールでは、小金井公園の江戸たてもの園と、市ヶ谷にある恩田邸に行きました。

二つの日本家屋を実測し、図面をかく作業の練習をしました。

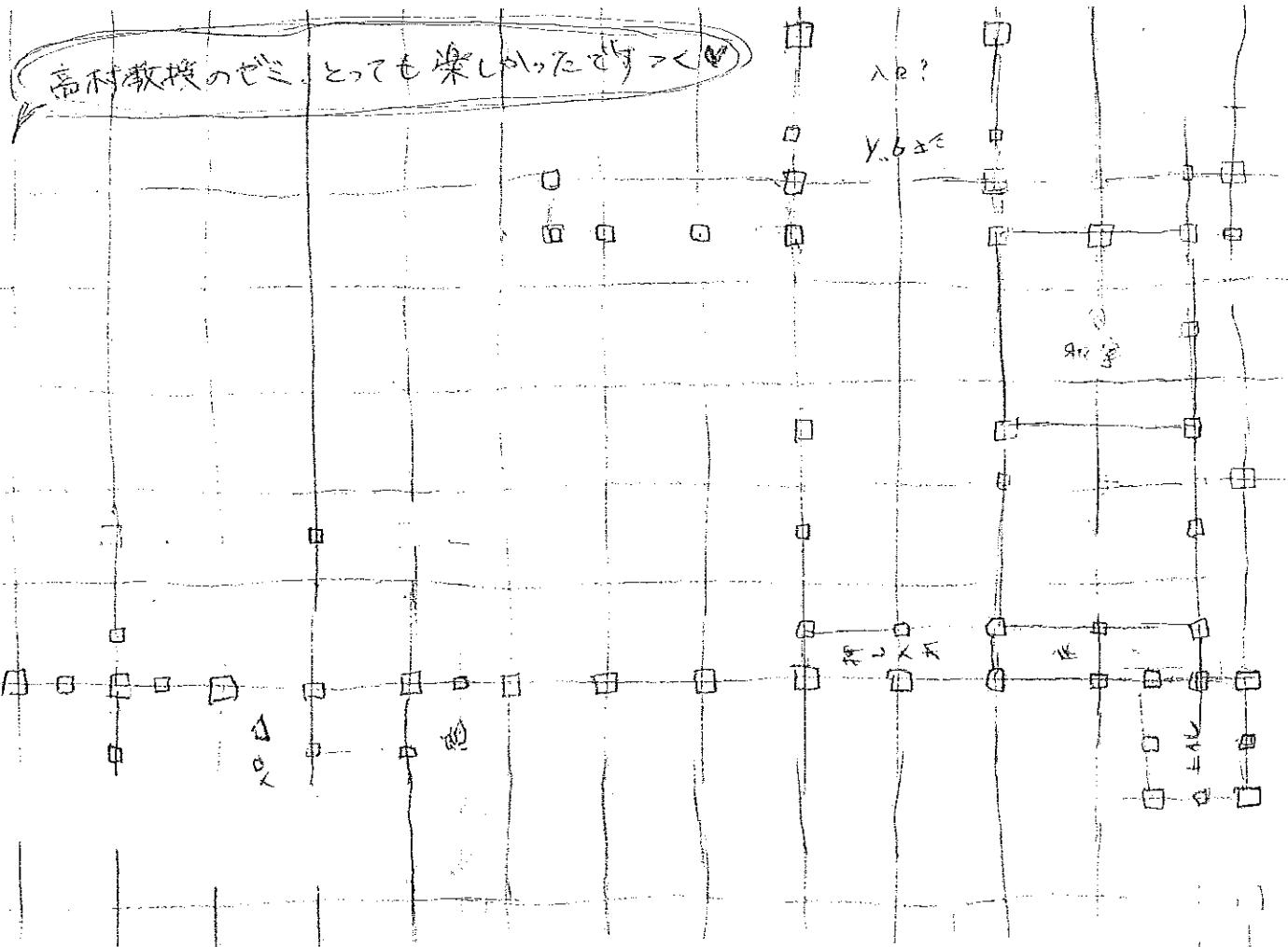
江戸たてもの園で初めて図面をかいたのですか。

どこから手をつけていいのか書き方もわからなかったので、かなり手こずっていました。頑張って途中まで書いたのが上の図面です。かなり悔しかったので次で挽回しようと努力しました。そして、最後まで書き上げることが出来たのが下の図です。こちらは恩田邸です。

高村研の先輩たちの優しく丁寧な指導をして下さったので、スケールや開口部の表記など、細部までかくことが出来ました。

高村研でたくさんのこと学びました。私は、高村研の導入ゼミナールをうけられたことにとてもラッキーであったと思ひます。また、次へデザインスタジオでトレースをするといふ、高村研で学んだことを活かすことが出来て、とてもためになったでござりました。

高村研究室の先輩方、教授、とても感謝しています。ありがとうございます。これからも頑張っていきたいです。

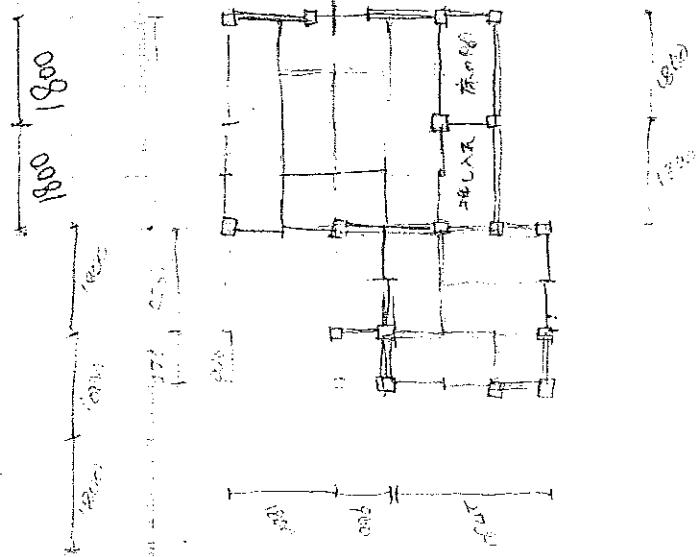
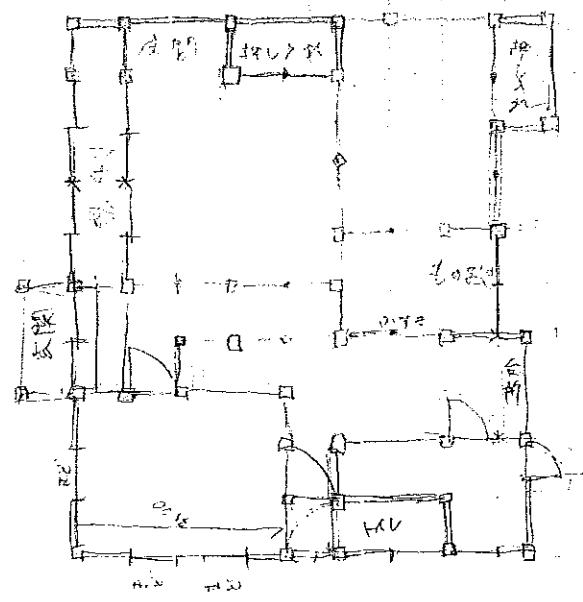


長友教子

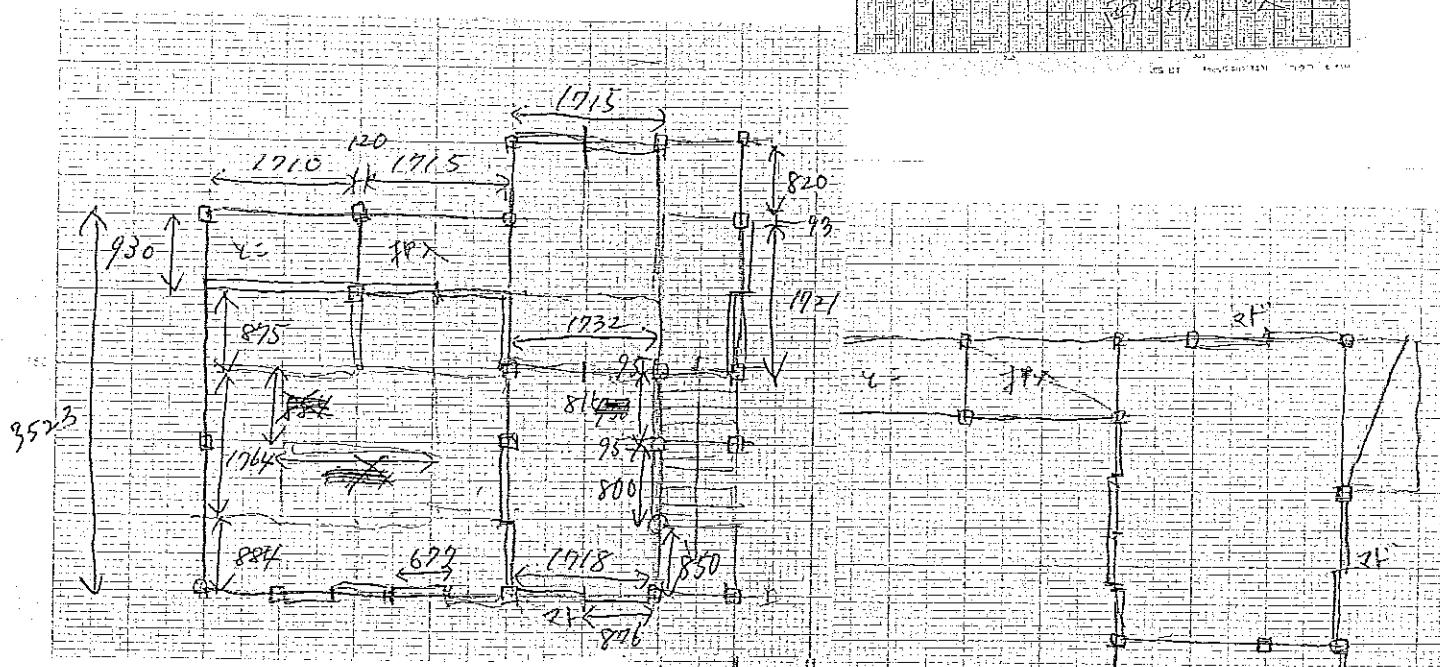
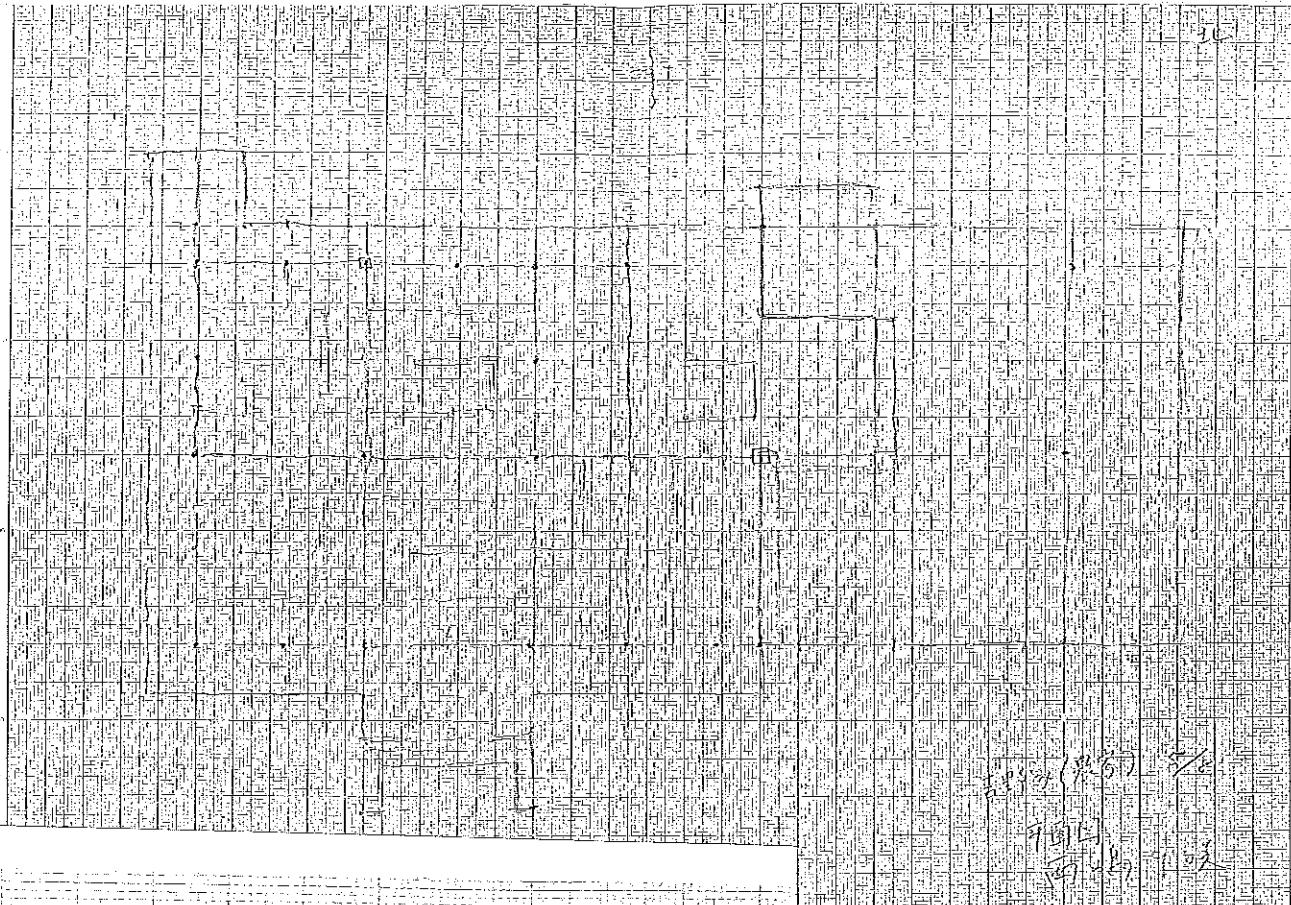
吉野家平面図 2010.5.8.

(1F)

(2F)



恩田邸 2010.5.29



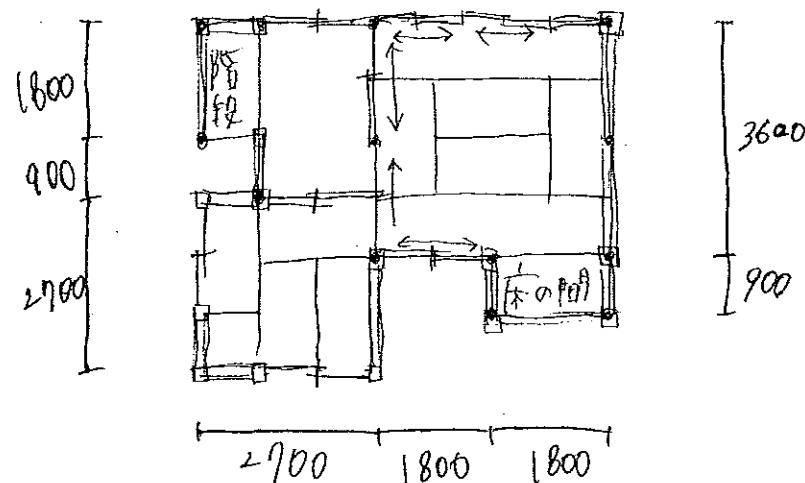
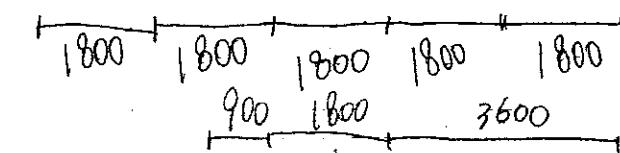
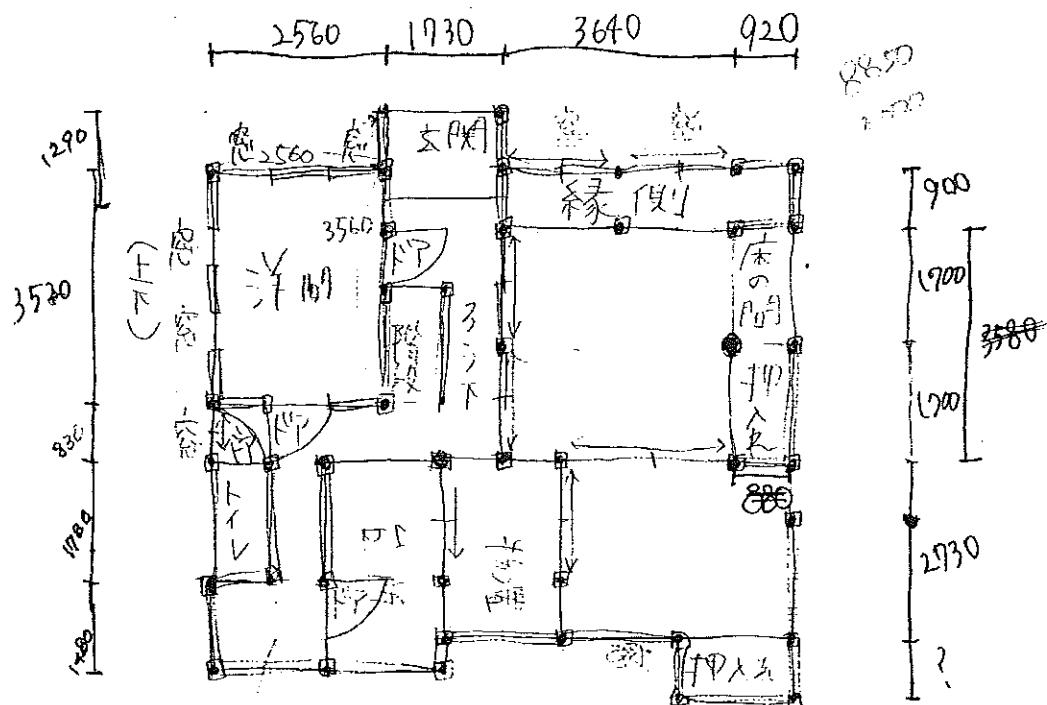
10N1096 西山寺の美

古の日本の木造を見て
かじてよひて。
次は金剛の建物も
図面を書いてみた。

高村ゼミ

導入ゼミナール感想レポート

10N1097 西村麻由



恩田邸

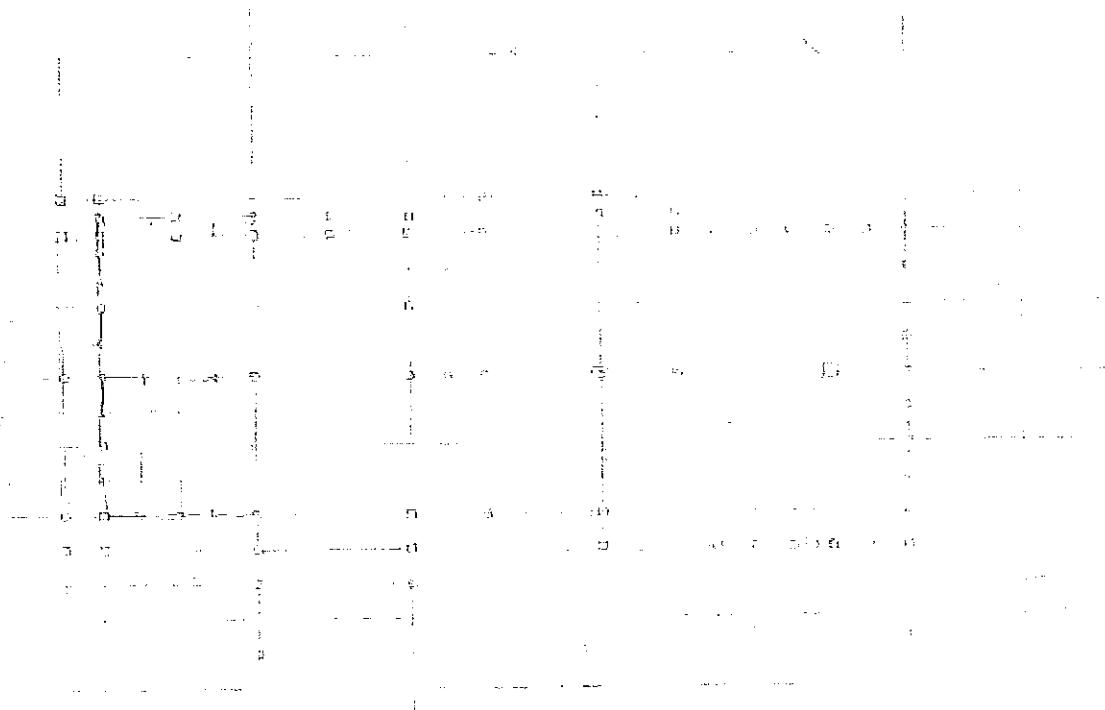
高村ゼミでは毎回実践に役立つ体験をさせてもらった。日本家屋の規則的な作りや平面図の描き方など、これから建築を勉強していくにあたっての大切な基礎を学ぶことができ、とてもためになった。

5/29 ウォークラリーについて

10N1098 西脇まゆ子

5月29日のウォークラリーにて、私の所属した高村ゼミでは、田町校舎から徒歩15分くらいの場所にある、法政大学の教授である恩田先生のお宅にお邪魔し、日本建築の住居の平面図を書いた。

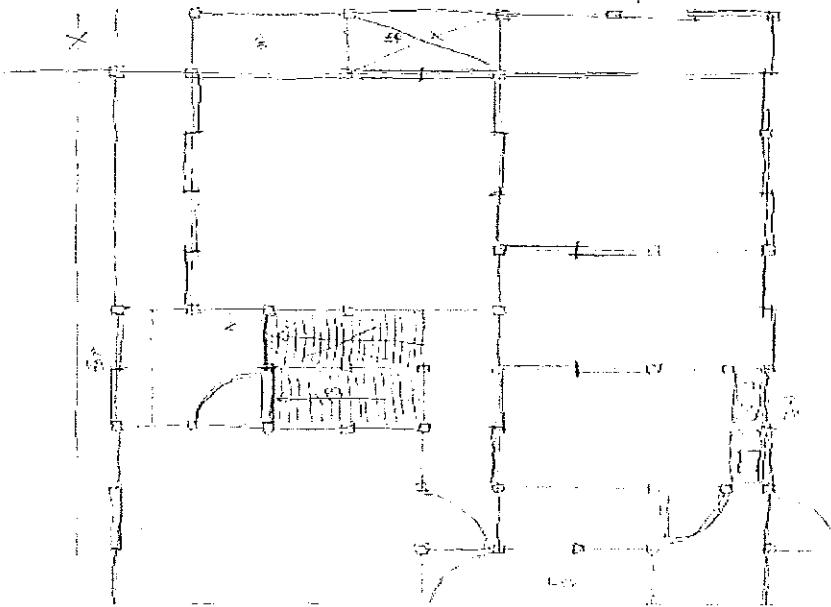
前回のゼミでは小金井公園内にある江戸東京建物園にて1~2時間程かけ、先輩に指導していただきながら、吉野家の平面図を描いた。それが下図である。



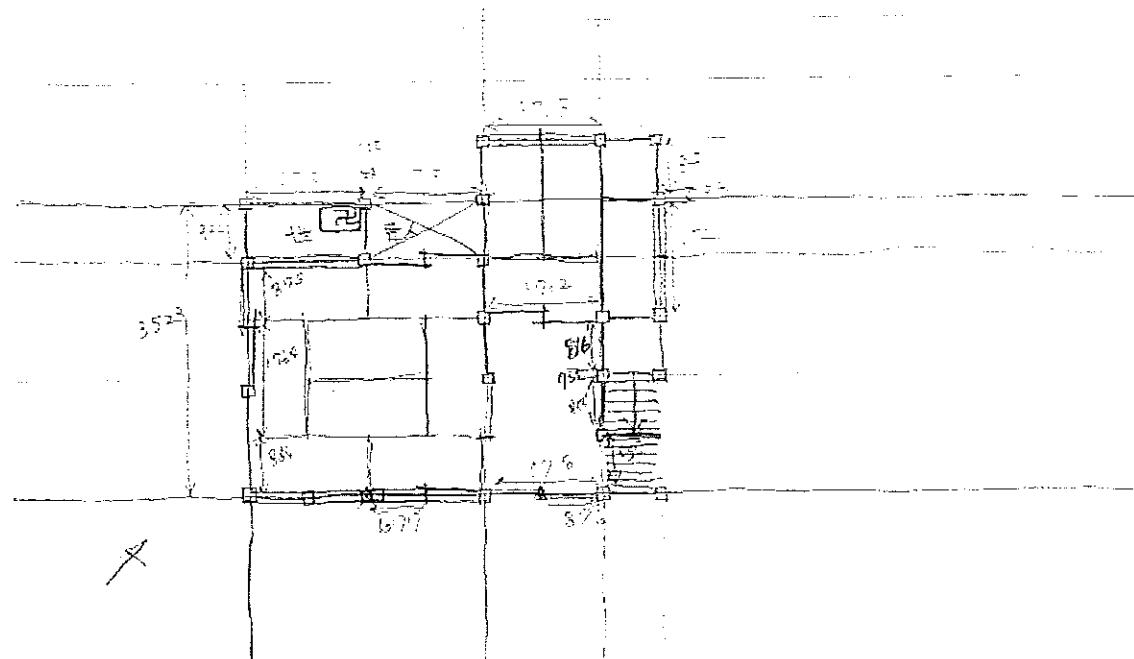
方角を確認してから、建物の間取りを、畳一畳を基準として何枚か数えながら印の線を引いていき、次にもう一つの基準となる柱を描いていく。その後、窓や押し入れの入り口などを足していく、畳の配置や土間の地面の様子などを簡単に描いていく。

このようにして習得した方法を利用して、5月29日は1階の平面図を書き、また、2階の平面図の作成と実測を行った。

まずは、1階である。1階はどの部屋も物が散乱していたり、畳の上にマットが敷いてあったりして、畳を数えるのが少々困難ではあったものの、前回の平面図のときも感じたが、ほとんどが規則的に並んでいたので、描きやすかった。(下図参照)



恩田邸、1階

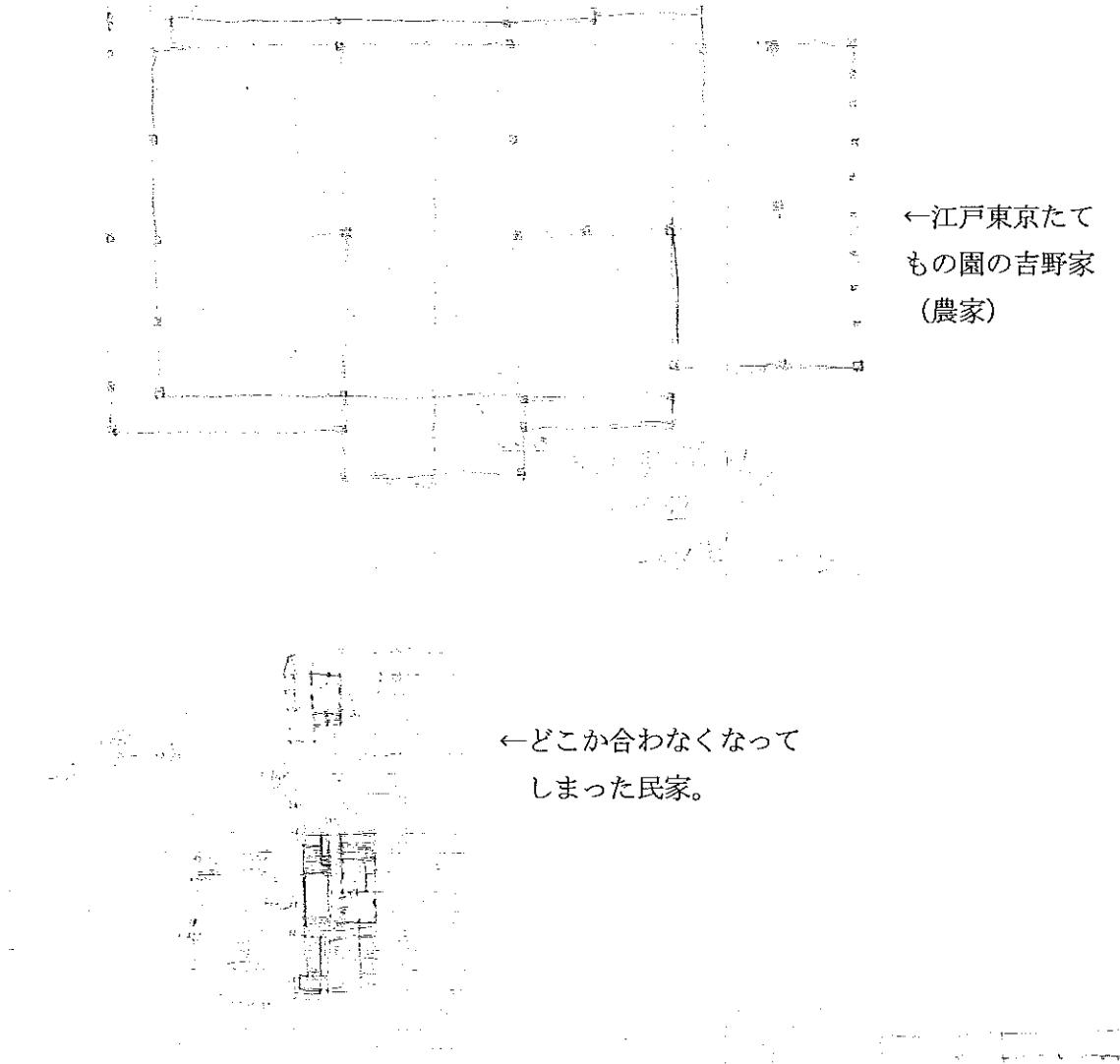


恩田邸、2階

2階は更に狭かったので、平面図を描くのは容易だった。実測は2人組となり、計測係と記録係にわかれて窓の一枚の長さなども測った。部屋の端から端までを測る場合と、窓や壁などを各々計測してから合計した値では多少のずれがあった。

ウォークラリー全体を通して、平面図を描くことの基礎や、先輩方からのアドバイスなど、自分の為になるようなあらゆることを得ることが出来、非常に実りのある一日だった。以前は、日本建築は、特に一昔前の建築となると、なんとなく古びていて汚いイメージが強く、まったく興味がなかったが、このゼミを通じて日本建築のシンプルではあるがきちんとした設計などに触れることで日本建築に興味を持つようになったことが一番大きい収穫だった。

10N1099 奴賀千尋 高村ゼミ



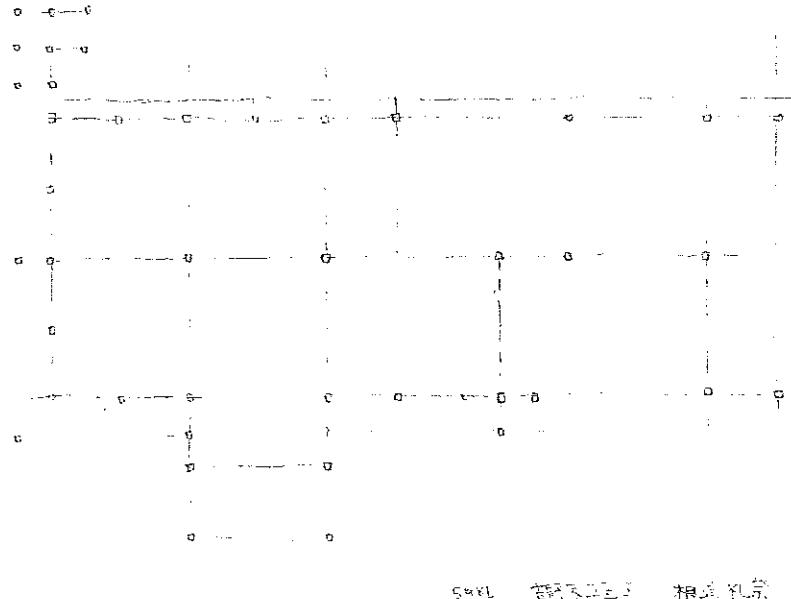
先輩の手ほどきにより→
あつてきたもの (途中)

どれを目安に実測していくかといふことをまったく知らなかつたが、先輩のわかりやすい手ほどきによりこれから実測をする際に他のやってない人よりもやりやすくできるのではないかと思っています。

高村教授の江戸東京たてもんの園の吉野家でお話になられた武士と農民の民家の違いも非常に興味深く建築史もおもしろいと思いました。

H22.05.08

吉野家（江戸東京たてもの園）

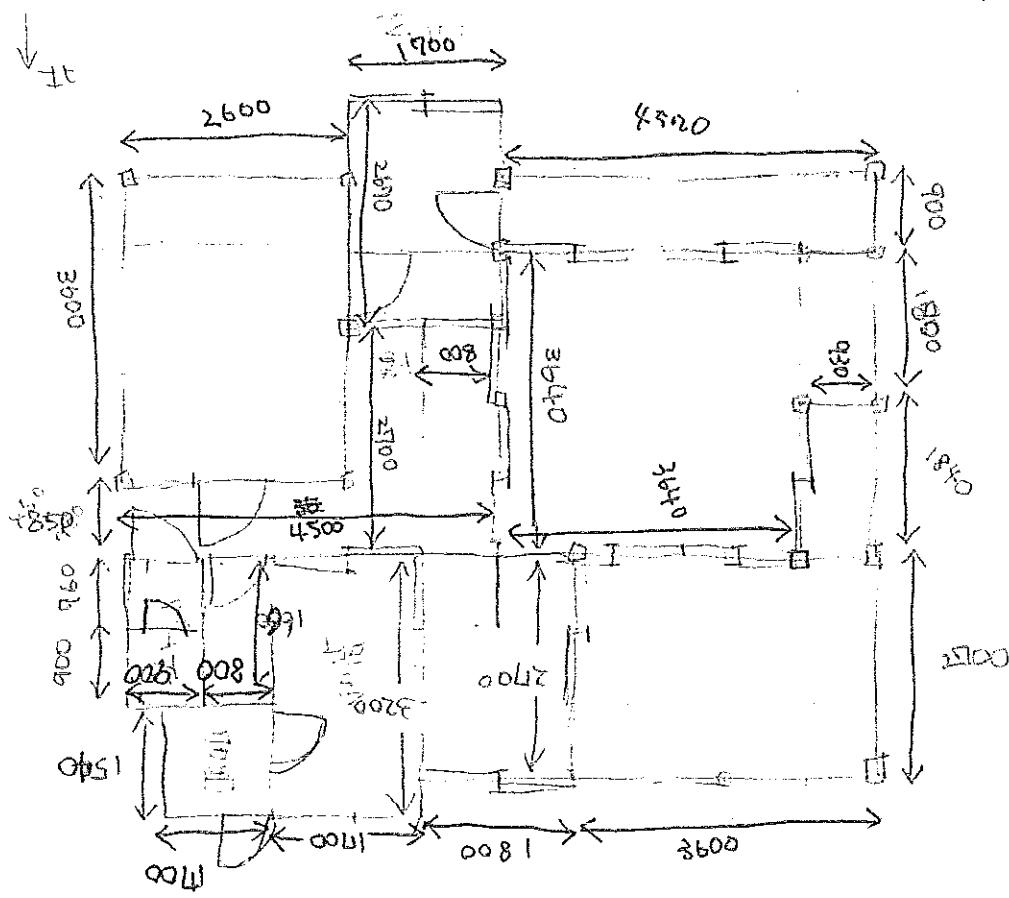


自分が立っている建物を平面図に起こすということを初めて行った。慣れないことでとても時間がかかり、結局完成とはならなかったが、通り芯を矢印で柱の位置を確認できた。

吉野家は江戸時代後期に建てられた民家で、他に建っていた同時期の武士の家との違いなどが見て取れ、興味深かった。また、ほかの時代の様々な特徴ある建物を見て、家の時代の流れを感じられた。

H22.05.29

恩田邸（JR市ヶ谷駅周辺）



ウォークラリーの日に行った恩田邸は普通の町中にある民家で、前回書いた吉野家のずっと後に建てられた家であるから柱が隠されていて最初よくわからなかった。しかし、前回のように通り芯をとることでどこにあるか分かるようになった。今回は長さも測ったが、左右・前後の合計数値が合わなかったりしてよく分からなかった。全てを正確に測れるように実測の経験も重ねたいと思った。

今回の導入ゼミの経験をいかして、これからデザイнстジオの授業日々のものをみる目を、よりよいものにしていきたいと思う。

導入セミの感想

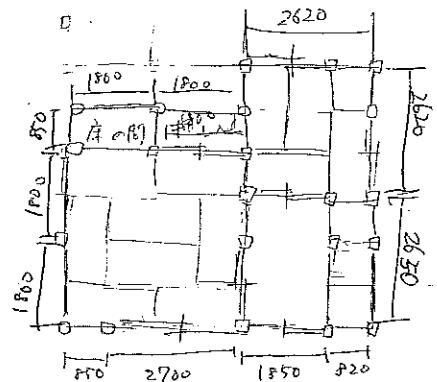
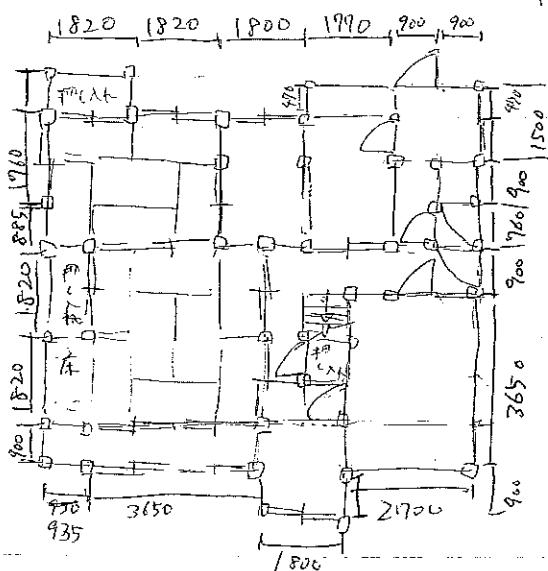
初めてこのメンバーでやっていたのが
不安でした。しかし、活動しているうちにとても楽しく、さらに
導入セミが終わって、とてもさみしい気持ちです。
実測等も今後の授業に役立つのでとても感謝す
してます。私的に2回目より1回目の実測の方が
やりやすかった気がします。2回目は難しかったです。

ON((O)) 野中百合香

(結果) 星野由希子

感想
日本建築の野帳と相、た。日本建築の開心を指す。野帳
先生撮影した。と先生が、之に教えた。之は、元方からに教わった。
10月11日日本建築の野帳と相、た。日本建築の開心を指す。野帳
先生撮影した。と先生が、之に教えた。之は、元方からに教わった。

5/9 野本 哲大 吉野 豪

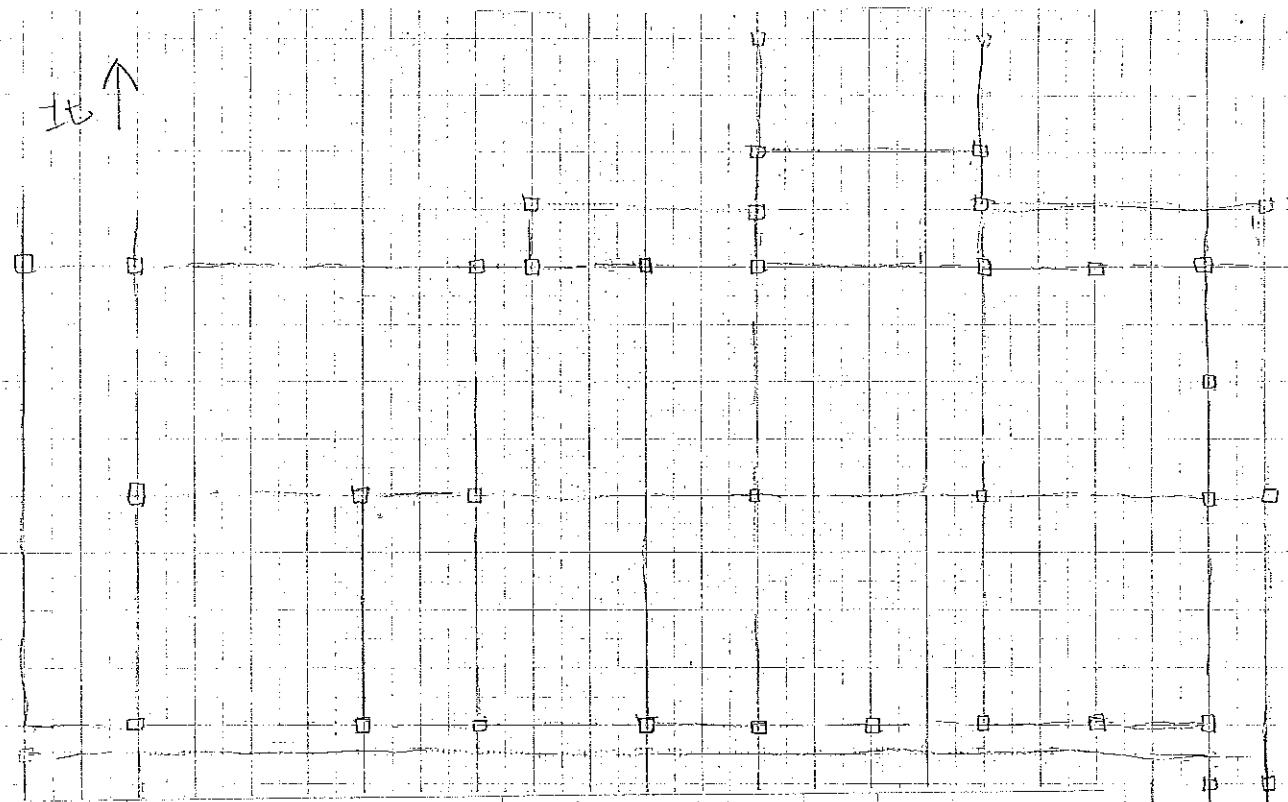


5/29 (±)

野本 雄大

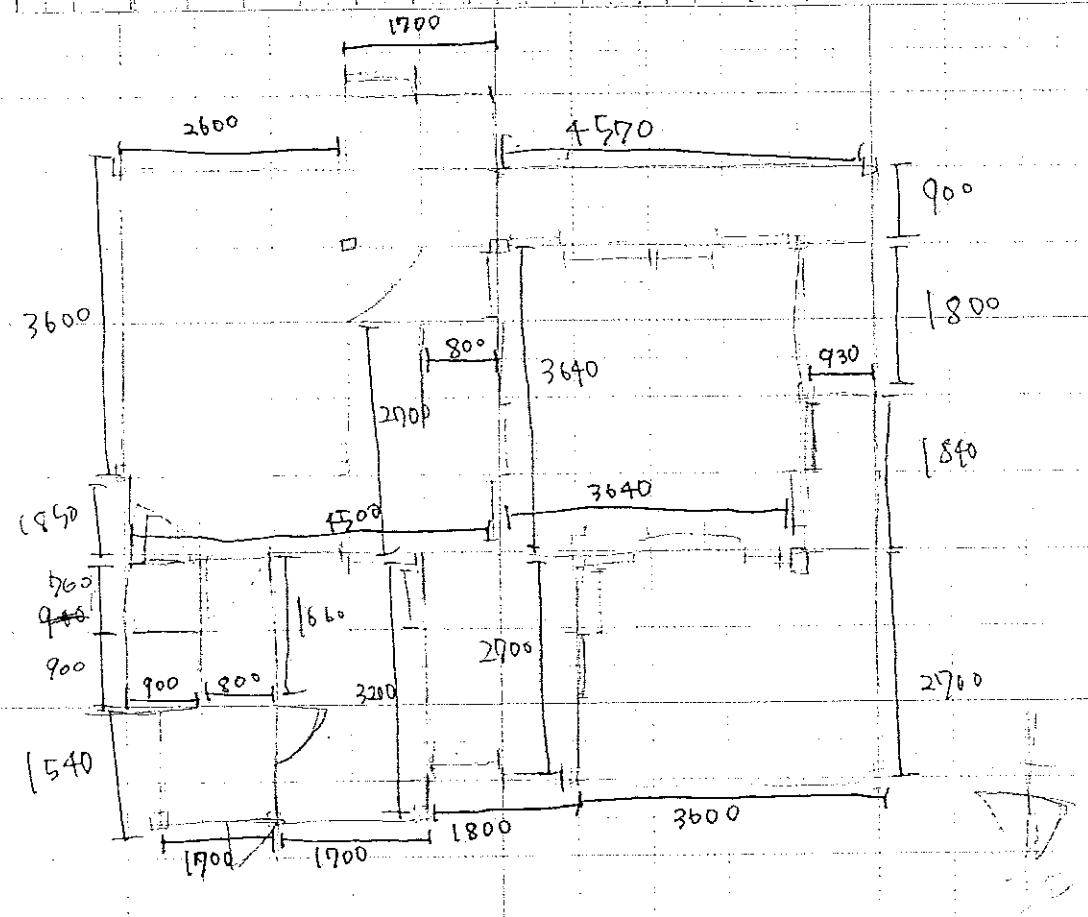
等入セミナーレポート(後付)等

~78-79H-~
10N1103 橋爪 满帆



2010
5/8
吉野家
平面図

江戸東京 T-27の園



2010.5.29
思田郎

江戸東京下町の圖

(はじめて平面図)を
かいじにときは、せう。
先輩方にアドバイス
を受けても、なかなか
実際にできず、要領も

よくなくて 部屋の
T=“iT=いの間取り/
くらいしかがけす”

時間がわざ

(よ, た。しかし、二度目のウオーキング) - のときは、

少し、早く出来るようになつた前回とちがい純日本家屋というわけではなく柱が目に見えないことに苦戦した。少し洋風を取り入れた家だったりサイズの基本は同じであり、間取りをかくのはそれほどむずかしくなかった。画面にするにより、家をちがった角度から見ることができて、おもしろいと思った。